



Team Dainan

八千代市立大和田南小学校
《校長室だより》
令和3年度 第31号
令和3年 11月30日

ESDの視点を取り入れた授業

～リアルタイム配信をメインに第43回公開研究会を行いました。～

11月26日(金)に第43回公開研究会を行いました。本校は、開校以来、社会科と生活科の研究に取り組んできました。平成30年度ユネスコスクール加盟を機に、これまで取り組んできた、社会科、生活科に加え、総合的な学習の時間、交流学习(特別支援学級児童と通常学級児童とで関わり合う学習)、イメージ学習を教育活動の中心に据え、研究を積み重ねています。

昨年度は、「感染拡大防止」と学習活動を止めない「学びの両立」を図りながら研究を積み重ねてきました。今年度は、さらに一歩踏み出し、新しい生活様式の中で「教科を教える」から「教科で学ぶ」への転換を図りました。

11月に入り、新型コロナウイルスの新規感染者が減少してきているとはいえ、多くの参観者を学校に入れるのはリスクがあります。そこで、今回は、Zoomを使ったリアルタイム配信での授業参観をメインにし、直接参観を希望する場合は、市内の小・中学校職員各校1名としました。

以下、当日の授業の様子です。

1年生 生活科 つなごう!!! みんなのハート

～つたえたい!ありがとう つくろう!!おてがみ～



1年生は、落ち葉や育てたサツマイモを使って模様をつけたオリジナルのはがきを作りました。そのはがきを使い、お家の人には「ぽかぽかハート」を伝える手紙を、6年生には、感謝の気持ちを伝える手紙を書きました。

当日、6年生が授業のはじめにお手紙の返事を持ってきてくれました。6年生からの返事を読んだ子供たちは、自分自身の成長に気づいたり、これからのめあてをもったりすることができました。

2年生 生活科 2021 おもちゃオリンピック開幕!!

～金メダルは、そう! きみにかがやく!～



2年生は、身近にあるものを使って遊びに使うおもちゃを工夫して作ったり、遊び自体を工夫したりして、みんなで遊びを楽しむ活動をしていました。今回のおもちゃ作りでは、ゴムや空気(風)、磁石を使った「動くおもちゃ」作りに限定していました。おもちゃを作るなかで子供たちは「もっと遠くまで」「もっと高く」「もっと早く」動かすことができるように試行錯誤を重ね、科学的見方、考え方を養うことができました。

3年生 社会科 市の移り変わり ～八千代市の様子と人々の暮らし～



3年生の子供たちは、八千代市の歴史を学習していく中で土地の利用や人口、生活の道具などの移り変わりを学習してきました。これまでの学習を踏まえ、これからの未来、八千代市がどんな市になってほしいか?について話し合いをしていました。子供たちからは、「みんなが安心して楽しく暮らせる市」「子供から大人まで楽しめる公共施設がある市」「いろいろなところに行けるみんなが便利に暮らせる市」という意見が出ていました。

4年生 総合的な学習の時間 10歳の私たちにできること

～“届けよう、服のチカラ”プロジェクトを通して～



子供たちは、“届けよう、服のチカラ”プロジェクトを通して、服には世界の難民の「命を守る」チカラや「個性を表現する」チカラがあることを学習してきました。学習を進めていく中で、消費者の一人として、自分たちにももっとできることがあるのではないかと考え、エシカル消費(環境や社会貢献に配慮した消費)につながる商品について紹介し合いました。子供たちにとって、今回の学習は、今後の消費活動を行うための一助になったのではないのでしょうか。

5年生 社会科 スゴいぞ！情報

～便利な世の中、増える危険～



子供たちは、これまでの学習で「くら寿司」情報通信機器の活用を例にして、いろいろな産業が情報を生かして発展していく様子について学習してきました。この日の学習では、「自分なら、くら寿司のロコサイトの情報を信じるか、信じないか。」というテーマのもと、活発に話し合いが行われていました。話し合いを通して、情報活用の危険性を理解したうえで、生活を豊かにするため情報を正しく扱える素地が養われたのではないのでしょうか。

6年生 総合的な学習の時間 SDGsで皆の未来を最高にしよう！



6年生の子供たちは、これまでの学習でSDGs17の目標達成のため、自分たちにできることについて話し合い、募金活動や韓国とのオンライン交流など具体的な行動に移してきました。この日の学習では、今後この活動を他校や地域の方々にも広めていく場合、どんなことに気をつけていかなければいけないのかプレゼンをしていました。他の班の友達と意見を交換する中で、より広い視点から自分たちの活動を見直すことができました。

6年生 イマージョン学習 Lanthanum festival(夢灯祭り)



イマージョン学習は、外国語をただ単に学ぶことを目的にするのではなく、その言語を使って様々な教科を学習するための手段として用いているのが大きな特徴です。

今回の学習で作ったランタンは、岩手県の「夢灯り」を参考にしました。子供たちは、互いの作品を鑑賞し合い、友達の作品のよいところを英文で書いていました。幻想的な雰囲気の中で、子供たちは、“英語のシャワー”を浴びながら、夢灯祭りを楽しんでいました。

えがお学級 交流学習 電気を作って動かそう ～えがお遊園地～



えがお学級は、エネルギー問題に身近なところから興味をもち、考えていくために「えがお遊園地」を作りました。手回し発電や足こぎ発電、ソーラーパネルなどを使って実際に電気を作り、クリスマスツリーの電球を光らせたり、模型の電車を動かしたりしながら「えがお遊園地」で楽しく活動をすることができました。

感染症拡大防止のため、通常学級との直接交流はできませんでしたが、その分えがお学級の中で制作活動を楽しむ形の交流学習ができました。